

# 留学報告書

(HP に掲載します)

留学全体を振り返り、勉学・生活の両面について具体的にご記入ください。

[1] 参加した語学コースの時間数／科目名(受講科目・複数可)

・授業時間数:月曜～木曜 9時30分～12時、1時～2時45分

・科目名:English for academic purposes 550, 600, VEEP program

時間	月	火	水	木	金	土	日
9時30分～12時、 1時～2時45分	○	○	○	○	Free	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

4セメスターを7ヶ月間で受けました。最初のセメスターで veep プログラムという日常会話や文化などを中心に学ぶプログラムを受けていたのですが、個人的によりレベルの高い英語学習に特化した EAP を受けたかったので次セメスターからは EAP を受講しました。EAP は”English for academic purposes”と言って英語が母国語ではない学生が英語圏の海外の大学、または大学院などでも学習できるように英語でのレポート、様々な文章読解、ディスカッション、海外の大学の講義やニュースメディアなどのリスニングをしていました。veep の国籍割合としてはほぼ全員が日本人で、韓国の生徒が2人いました。EAP では 550 の時にはクラスの約4割が日本人、600 の時は 18 人中 3 人が日本人でした。日本人以外には中国、韓国、台湾、インドネシア、イラン、アフガニスタン、ブラジル、ペルーからの生徒がいました。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

EI では CA と呼ばれる現地学生が様々なイベントを開催するので私はよくルームメイトやクラスの友達とイベントのボランティアに参加していました。理由としてはボランティアの方がより長い時間 CA といったり、英語で話す機会が多いからです。また学校外でも金曜日は授業がないので大学関係者が参加できるサッカークラブに参加したり、現地の UBC 生に日本語を教えるボランティアに参加していました。土日は友人と観光地に行くことが多かったです。例としてオーロラ、ウィンタースポーツ、フェリーに乗って近くの島に行くなどカナダらしいアクティビティを楽しんでいました。またハロウィンやクリスマスも現地は大きく祝うので友人やホストファミリーと良い経験ができました。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

学校の中には様々な施設があり、1つの街のような感じでした。私は課題や自習をする時は主に Nest と呼ばれる大学のカフェテリアでしていました。そこ以外で勉強する時は言語学校がある建物でしていました。サッカーをする際は同じキャンパス内にある人工芝のグラウンドでしており、大学のスポーツ観戦をする際にもキャンパス内にあるスタジアムやアリーナに行っていました。また私は授業前にコーヒーを飲むのですが学校内に5つほどコーヒーショップがあるのでそこも利用していました。他にもレストラン、スーパー、ダンスクラブなどあり様々な

海外派遣留学生  
留学報告書

(HP に掲載します)

施設がありました。

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋: 1部屋 1 人で使用

様子: 現地に到着してからクリスマス前まで滞在していたホストファミリーは引退した夫婦で私を含め4人の日本人がいました。その時期はコロナ明けということもあり日本人学生が多かったのも日本人のルームメイトが多いのは普通でした。朝食は大抵どこの家でも生徒自身で家にあるものを自分たちで用意して食べます。(シリアル、トーストなど) お昼はホストファミリーが毎日サンドイッチやマフィンを作ってくれました。夜ご飯は私の家はいつも一緒に食べるタイプなので食事の時間はとても良かったです。2家族目の家ではルームメイトは私を含め、2人いました。生活スタイルも1つ目の家とほとんど同じで引退した家庭の家でおだやかな家族でした。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- 楽しかったこと: 授業内では様々な活動やディスカッションも多く、アクティブなクラスメイト、先生だったので、やりがいがとてもあり、楽しかったです。授業外では学校の色々なイベントに参加したり、観光、現地のスポーツ観戦など多くのことを経験しました。特にイベントではインターナショナルナイトと言って生徒やスタッフが母国の料理を作って参加した生徒や先生と一緒に食事をし、普段通り会話をしたり、ゲームなどの催し物をするパーティーはとても思い出に残っています。またハロウィンやクリスマスはホストファミリーと過ごしていたのですが、仮装をしたり、クリスマスプレゼントをもらうなど現地でしか体験できないものを経験しました。
- 苦労したこと: 留学生活を通して苦労したことは特にないのですが、日本と違って湯船はなく、海外はシャワーだけなので少しの間ですが慣れるまでに時間がかかりました。

[7] 留学の成果について教えてください

- 1) 語学力の向上: EAP を受け始めてからは授業内でのテスト(エッセイやリーディング)や課題もとても多く、クラスメイトも自分の歳より上の人が多かったので大変な部分も多かったのですがアカデミックレベルの英語を細かく、色々なスキルを教えてもらい、またアウトプットも多かったのもとても充実していたと思います。特に私はリーディングとライティングがあまり得意ではなかったのですが EAP600 のセメスター最後のテストで 29/30 ポイント取れたので嬉しかったです。またリーディングの部分でもまだ課題が残っていますが何をどのように改善するのか発見できましたし、留学前よりも確実に読める量、スピードが変わったと感じています。スピーキングとリスニングは留学前から少し得意な部分だったので留学を通じて対人でのコミュニケーション力は特に伸ばせたと感じています。
- 2) 専門知識の向上: 私のプログラムは言語留学だった為、専門科目というよりメインは英語学習でした。ですが私の学科が英語関係だった為、つながっている部分は多かったと

海外派遣留学生  
留学報告書

(HPに掲載します)

感じています。また学校内にいる現地学生のボランティア(CA)に自分の学部と似ている友人が何人かいたのでゼミや将来に向けての考えを聞いたりしていたのでとても役立ちました。

- 3) 自己成長など: コロナ期間が日本は海外に比べて長かった方なので向こうの完全対面式の授業は毎日がとても良い経験になりましたし、長期だったので様々なイベントに参加して新しい友達ができ、観光名所も回れたので自己成長の部分では、新たな視点、考え方、価値観など感じるものが大きかったです。またカナダにいる際に改めて日本という国の魅力が多く発見できたのも新しい経験でした。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

言語学習というのは留学に行ったからできるというものではなく、留学前の準備、留学中の自分の行動、考え方など自分次第の部分が大きいです。特に言語学校はどここの国でもどうしても日本人が多いので行動力はとても求められると思います。その為留学前のクラス分けテストの勉強、また自習学習は大事だと感じます。長期で海外に滞在する点についてはカナダはアメリカよりも安全ではあるので心配する部分は特にはないと思います。なのでいかに自分を向こうの生活に慣らしていくかが重要だと考えています。UBC は経験、語学力の向上のための機会はたくさんあるので楽しんでください。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	1,156,610 円
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	約 21 万円
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	月約 8 万円
現地からの奨学金がある場合	
お土産代や個人的な買い物	約 10 万円
その他( カナダドル )	5 万円
留学に関する費用の総額	2,076,610 円

海外派遣留学生  
留学報告書

(HPに掲載します)

[10]ホームページに掲載する留学中の写真を貼り付けてください。(複数枚可)

※寮や授業、ホームステイ先など、なるべくご自身が映っている写真をお願いします！



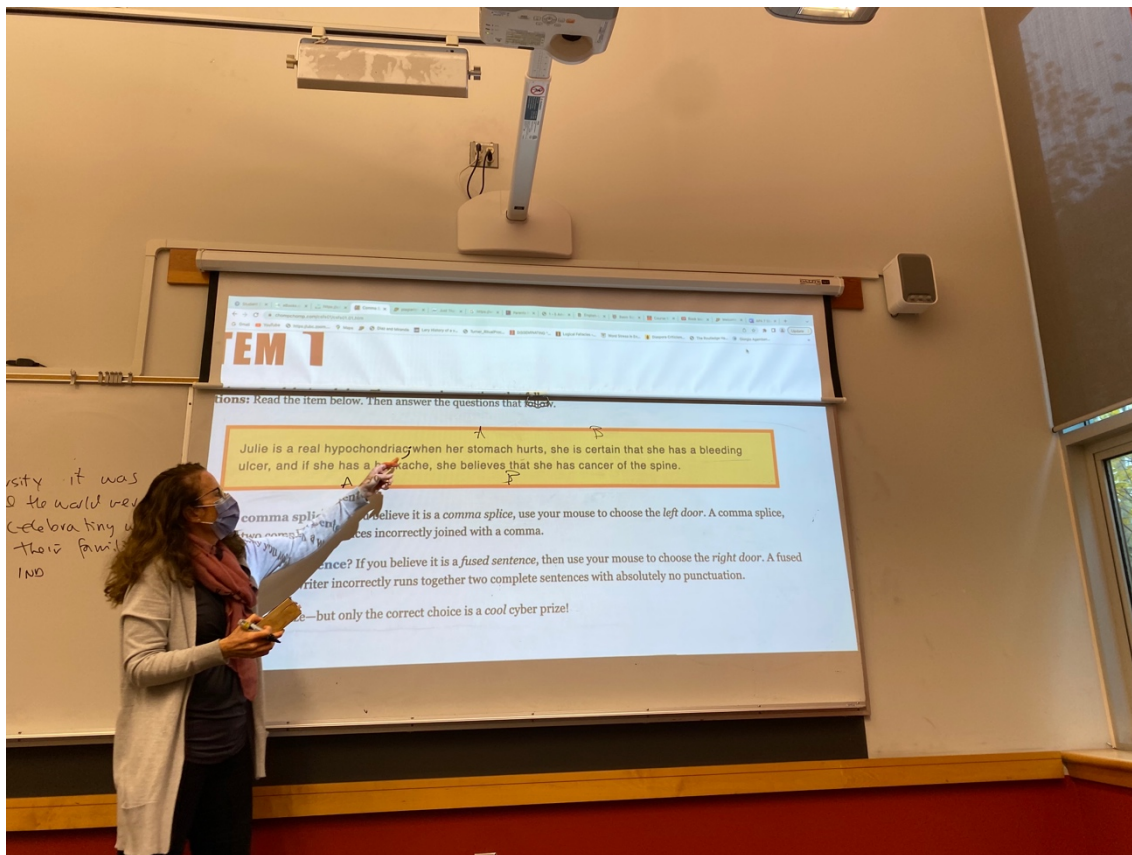
海外派遣留学生  
留学報告書  
(HPに掲載します)



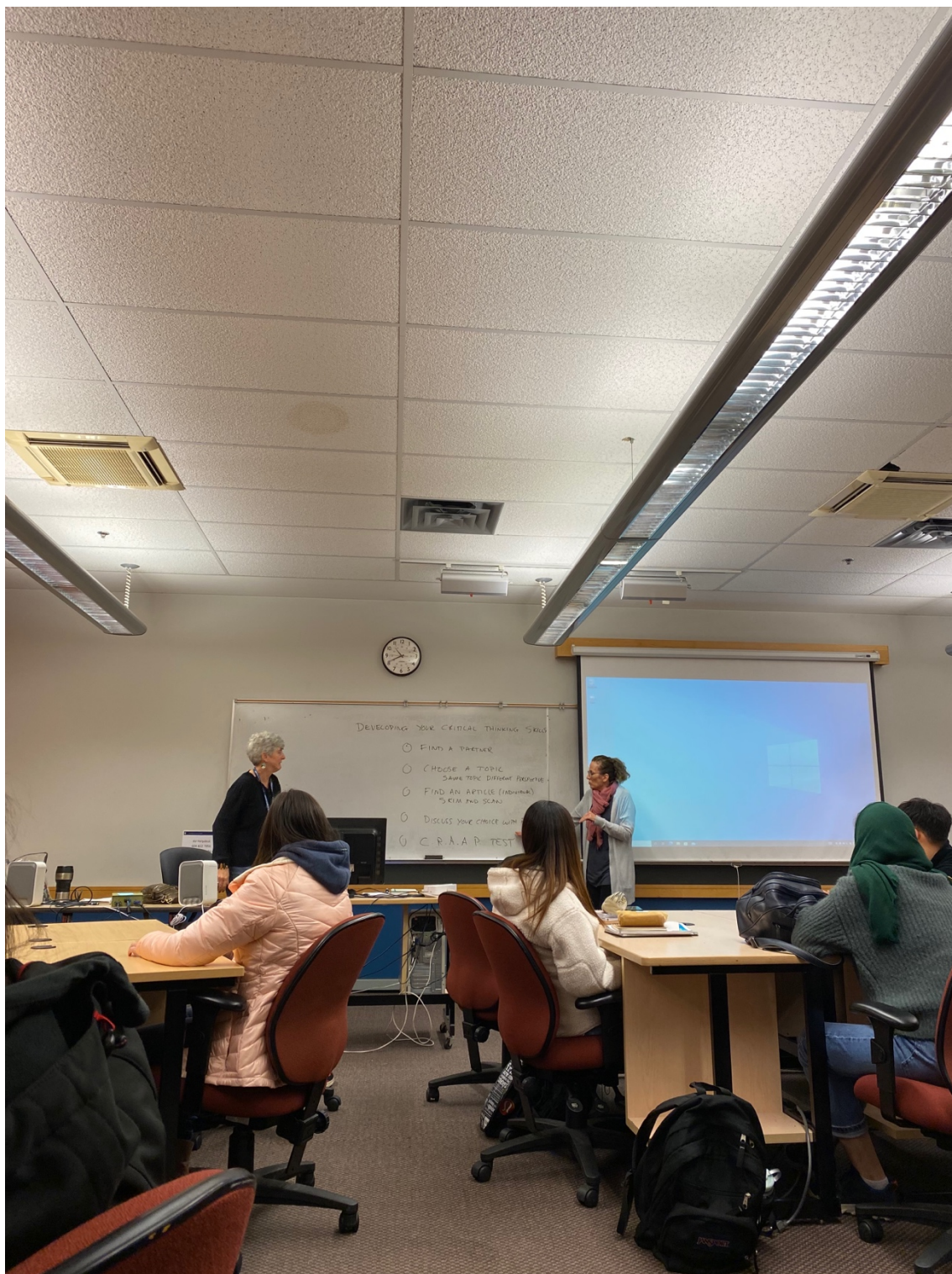
海外派遣留学生  
留学報告書  
(HPに掲載します)



海外派遣留学生  
留学報告書  
(HPに掲載します)



海外派遣留学生  
留学報告書  
(HPに掲載します)





海外派遣留学生  
留学報告書  
(HPに掲載します)



海外派遣留学生  
留学報告書  
(HPに掲載します)



海外派遣留学生  
留学報告書  
(HPに掲載します)



海外派遣留学生  
留学報告書  
(HPに掲載します)



海外派遣留学生  
留学報告書  
(HP に掲載します)

